



## 乳がん検診

乳がん検診には対策型検診と任意型検診があります。対策型検診というのは自治体（市町村）が税金を使って行う乳がん検診のことで、対象集団の乳がん死亡率減少を目的としています。郡山市の場合は、対象は事業所等で健康診査・検診を受ける機会（労働安全衛生法、各種医療保険による保健事業のなかで受ける検診の機会等）のない郡山市民です。そのため、社会保険加入の本人や被扶養者であっても、職場で検診を受ける機会がない場合は、市の検診を受けることができますとしています。年齢は40歳以上ですが、国が定める検診推奨年齢は40～69歳で、国際的な統計の比較でも用いられている年齢です。これは働き盛りの乳がん死を減らし生産性をあげるという目的には合致しますが、日本では人口構成の高齢化が著しく、また乳がんをはじめ多くのがん種で高齢ほど罹患率が上昇します。これを考えると画一的に、公費（税金）を使う対策型検診では推奨年齢の40～69歳に限定すべきというのは少し乱暴な議論です。統計は40～69歳でも構いませんが住民サービスとして70歳以上の市民にも乳がん検診の機会を残す方法を時間をかけて検討するべきだと思っています。方法はマンモグラフィによる隔年検診です。任意型検診というのは対策型乳がん検診以外の検診で個人の死亡リスク減少を目的にしています。したがって、年齢や方法にもこだわりはありませんので、マンモグラフィ以外にも超音波、MRI検査なども健診に追加で行うことができます。自費検診となります。

郡山市の令和3年度の検診結果（公表済み）を掲載します。

| 受診者総数 | 受診率   | 要精検者 | 要精検率 | 精検受診率 | がん発見数 | がん発見率 |
|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|
| 7015人 | 20.5% | 349人 | 5.0% | 96.0% | 21人   | 0.30% |

これらの数値は受診率を除いて満足すべき数値です。受診率はコロナ禍以来低迷していますが、福島県では60%を目指しています。受診率向上のため、ピンクリボンin郡山など啓発活動も行っていますが、患者さんやご家族に乳がん検診を勧めていただくようお願い申し上げます。

（文責：野水 整）

### 治療実績

#### 乳がん検診受診者数（1月）

|                 |      |
|-----------------|------|
| 郡山市乳がん検診        | 46件  |
| 郡山市を除く自治体乳がん検診  | 5件   |
| ドッグ職域健診を含む任意型健診 | 110件 |

#### 乳腺外来新患者数（1月）

|            |     |
|------------|-----|
| 乳腺新患者様     | 58件 |
| （紹介の患者様）   | 22件 |
| （2次検査の患者様） | 32件 |
| （乳がんの患者様）  | 15件 |

#### 手術数

|          |      |
|----------|------|
| 1月 乳房全切除 | 15件  |
| 1年間合計    | 173件 |
| 1月乳房部分切除 | 4件   |
| 1年間合計    | 82件  |



乳腺外科医



スタッフ紹介

みなみ かこ

南 華子

郡山市出身

2019年医師免許、星総合病院で2年間の臨床研修後、現在福島県立医科大学外科専攻医、星総合病院外科で一般消化器外科修練、同乳腺外科で乳腺外科修練中、福島県立医科大学乳腺外科所属。



認定遺伝カウンセラー



スタッフ紹介

かつべ ようすけ

勝部 暢介

仙台市出身

「がんの遺伝外来」を担当するとともに、乳癌患者への遺伝カウンセリングに積極的に取り組んでいる。HBOC（遺伝性乳癌卵巣癌）、リンチ症候群などの遺伝性腫瘍をはじめ、遺伝性疾患全般に関する相談に対応している。全国に389名いる認定遺伝カウンセラーの1人（2024年3月現在）。



星総合病院

発行月 2024年3月